

令和4年度 熊本県老人クラブ連合会 事業計画書

I 基本方針

老人クラブは、超高齢社会を明るく、豊かで活力あるものにすることを目指して、高齢者自らが取り組む「健康」「友愛」「奉仕」の三大運動の一層の推進を図るため、「健康づくり・介護予防活動」、「友愛活動」、「子どもの見守り」、「消費者被害防止」の活動などを行い、地域の安全と安心に貢献しています。

しかし、平成9年度をピークに会員の減少が続き、平成26年度から5年間にわたり「全国100万人会員増強運動」に取り組んだにもかかわらず減少傾向に歯止めがかからず、令和3年度にはピーク時の半数に満たない状況となり、役員のなり手不足や活動の中核となる若手会員の不足が深刻化しています。

さらには、令和2年当初から世界的に蔓延した新型コロナウイルス感染症は、変異を繰り返しながら拡大を続け未だに収束が見えず、その間、老人クラブ活動と高齢者の健康増進に大きく影を落としています。

このような状況を踏まえ、私達老人クラブは「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」のメインテーマのもと、新しい生活様式を基本にして、魅力ある老人クラブ活動づくり、会員増強に今年度も引き続き取り組みます。また、行政や社協を始め関係団体と連携し、フレイル予防・健康長寿の延伸と地域における支え合い活動を広げ、地域の安全・安心づくりに取り組みながら、誰もが役割を持ち、支え合いながら暮らし、生きがいを築いていく「地域共生社会」の実現を目指します。

<公益事業の4つの柱>

- 1 健康づくり・介護予防活動の推進
- 2 地域支え合い活動の推進
- 3 活動活性化に向けた取組
- 4 地震等災害被災者支援及び復興活動の推進

<参考：令和4年度全老連重点事項>

- 1 コロナ禍及びポストコロナを見据えた老人クラブ活動の推進
 - (1) 「新しい生活様式」に基づくクラブ活動の普及
 - (2) 自宅でできる身体と心の健康づくりの呼びかけ
- 2 会員増強への取り組み
- 3 高齢者の健康づくり・生活支援活動の推進

II 公益事業

1 健康づくり・介護予防活動の推進（公1）

健康で自立した生活を送るためには、健康寿命を保つことが大切ですが、一昨年からのコロナ禍の影響で外出や運動を控えた結果、生活不活発から健康状態に支障がでてきている高齢者が増えています。このため、今年度は、コロナ禍での新しい生活様式のもと自らの健康管理や生活習慣に気を配りながら、意識的に心の健康づくりや体の健康づくりに取り組むことで介護予防にも大きく貢献します。

(1) 高齢者の体力測定普及活動の推進

高齢者の体力測定は、「自らの体力を知り、自分にあった適切な運動を生活の中に取り入れていく」ことで自立できる体力を維持しようとするものです。コロナ禍による一昨年からの生活不活発で落ちた体力回復の指標を明確にし、健康づくり活動を進めるため、市町村老連等での積極的な取組を支援します。

(2) 健康ウォーキング・ニュースポーツ支援事業の推進

運動による高齢者の健康づくりを促進するため、健康ウォーキングやニュースポーツを正しく理解するための講習会・実技研修を開催するとともに、指導者等の派遣を行い、市町村老連等における取組を推進します。

特に、手軽に誰でも取り組めて、体も頭も使うニュースポーツとして普及を進めている公式ワナゲについては、ワナゲセットを市町村老連等に貸し出すことで体験する機会を増やし、普及拡大を図ります。

(3) 健康づくり指導者育成事業の推進

高齢者の健康づくりに関して専門家の意見を聴くほか、講演会やブロック別研修会を開催し、市町村老連等における健康づくり活動の普及を図ります。

- ① 健康・生きがいづくり支援事業推進委員会の開催
- ② 健康づくりブロック別研修会の開催
- ③ 健康づくりリーダー等研修会の開催

2 地域支え合い活動の推進（公2）

(1) 在宅福祉を支える友愛活動の推進

元気な高齢者が地域の一人暮らしや寝たきりの高齢者等の家庭を訪問し、話し相手や簡単な生活支援等の活動を実践するシルバーヘルパー養成及び2年の実務経験者を対象にしたシルバーヘルパー指導者養成に取り組むとともに、活動の広がりを図っていきます。

(2) 地域の安全・安心の取組と社会奉仕の日の取組（地域支え合い活動に関する県老連から市町村老連への取組の呼びかけ）

- ① 地域の子ども見守り活動
県内各地で取り組まれている登下校時の見守りパトロールの継続と空白地域の減少に努めます。
- ② 防犯・消費者被害・振り込め詐欺等
振り込め詐欺に代表されるように高齢者を狙った悪質業者の被害に遭わないように、行政（消費生活センター）や警察との情報の共有、講習会開催などの安全対策に取り組みます。
- ③ 災害等緊急時の対応
自治会や町内会といった団体との連携の中で、高齢者や社会的弱者への災害緊急時の連絡や避難体制について、可能なところから対応を進めます。
- ④ 社会奉仕の日の取組
「老人の日・老人週間」は、9月15日～9月21日の期間、国民に老人福祉についての関心と理解を深めると共に、老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促すために制定された記念日です。
期間中の9月20日は老人クラブ全国一斉「社会奉仕の日」として、環境美化活動等に取り組みます。

3 活動活性化に向けた取組（公3）

（1）広報活動

- ① 広報委員会の開催と年2回の「県老連だより」の刊行
- ② 元気老人クラブ活動広報推進事業
活発・先進的な活動を行っている老人クラブを、研修会や事例を通じて他の老人クラブ等に紹介します。
また、未加入者が入りたくなるような魅力ある老人クラブづくりを支援し、会員加入の促進、ひいては老人クラブ全体の活性化を図って行きます。

（2）単位老人クラブ調査事業

単位老人クラブの組織実態について調査し、地域活動活性化の基礎資料を作成します。

（3）老人クラブ大会及び各種表彰の実施

老人クラブの社会的使命に対する会員の自覚を高め、さらに仲間づくりを進めて老人クラブの発展と老人福祉の向上を期すため、老人クラブ大会や各種表彰等を実施します。

- ① 第38回熊本県老人クラブ大会の開催
- ② 老人クラブの育成発展に功績のあった個人及び団体の表彰
- ③ 95歳となる高齢者への寿詞贈呈
- ④ 赤い羽根歳末助け合い運動への協力

（4）老人クラブリーダーの育成等

- ① 単位老人クラブ新任会長及び女性リーダー研修会
新任の単位老人クラブ会長や女性リーダーが、組織や事業を運営していく上で必要な知識や情報について、研修を行います。

(5) 行政や団体との連携強化の推進

- ① 市町村行政と定期的な協議の機会設定
老人クラブ活動予算の確保や高齢者福祉行政との連携調整を図るため、市町村行政との「定期的な協議の場」の設置を支援します。
- ② 地域ネットワークへの積極的な参加
地域の中で安心・安全に暮らしていくために、市町村社協や自治会をはじめ地域にあるネットワークとの連携強化を図ります。

4 地震等災害被災者支援及び復興活動の推進（公4）

地震等災害時の被災者支援や震災復興に向けた活動は公益の原点とされており、平成28年の熊本地震や令和2年熊本豪雨災害を踏まえ、災害時の被災者支援や復興を目的とする活動に速やかに取り組みます。

(1) 被災者支援及び震災復興関連事業

被災市町村老連が行う復興関連事業並びに非被災市町村老連が行う被災市町村老連復興支援事業を支援します。

III 収益事業

1 旅館・ホテル等の指定及び図書斡旋（収1）

(1) 旅館・ホテル等の指定（指定料収入）

会員の研修や旅行等福利厚生に資するため県老連指定旅館制度を設け、安心して活用できる場（旅館・ホテル等）を提供しており、旅館・ホテル等からの申し出を受け、指定旅館・ホテル等として指定します。

また、指定旅館・ホテル等の案内を作成して各単老に配付し、老人クラブ名簿や年2回発行の県老連だよりに掲載して会員への周知を図ります。

(2) 図書斡旋収入

老人クラブ活動日誌や老人クラブ会計簿などを会員に斡旋し、その活用により老人クラブ活動の円滑な運営を図ります。

2 保険広告（収2）

(1) 保険広告料収入

全老連が実施する傷害保険・賠償責任保険について、機関紙である「県老連だより」をはじめ、研修会・講習会等資料に広告を掲載して普及拡大を図り、広告料収入を得ます。

3 共益（他1）

(1) 郡・市町村老連事務担当者研修会

市町村老連事務局長や担当者を対象とした研修会を開催し、高齢者福祉制度や県老連事業の活動方針の説明のほか、事務連絡や意見交換を行うことにより、情報を共有し活動の活性化を図ります。

IV 会議及び研修会

1 役員会・委員会

- (1) 正副会長会議
- (2) 理事会
- (3) 総会
- (4) 監査
- (5) 活動積立金管理運営委員会
- (6) 女性委員会
- (7) 友愛訪問活動活性化委員会
- (8) 広報委員会
- (9) 健康・生きがいづくり支援事業推進委員会

2 研修会等

- (1) 第38回熊本県老人クラブ大会
- (2) シルバーヘルパー養成講習会・指導者養成講習会
- (3) 市町村老連新任会長及び女性リーダー等研修会
- (4) 健康づくりブロック別研修会
- (5) 元気老人クラブ活動広報推進事業研修会
- (6) ニュースポーツ・健康ウォーキング等研修会
- (7) 健康づくりリーダー等研修会
- (8) 郡・市町村老連事務担当者研修会

3 全国及び九州ブロック会議及び研修会等

- (1) 全国老人クラブ連合会理事会・評議員会（東京都）
- (2) 九州ブロック老人クラブリーダー研修会（長崎県）
- (3) 都道府県・指定都市老連事務局長会議（東京都）
- (4) 活動推進員等職員セミナー（東京都）
- (5) 九州各県・指定都市老連事務局長会議（沖縄県）
- (6) 「老人の日・老人週間」（20日：全国一斉「社会奉仕の日」）
- (7) 創立60周年記念全国老人クラブ大会（東京都）
- (8) 第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会（神奈川県）
- (9) 高齢者の健康づくり・生活支援セミナー（東京都）
- (10) 都道府県・指定都市老連代表者会議（東京都）
- (11) 九州各県・指定都市老人クラブ連合会連絡協議会（福岡市）